

卷末附图説明

株式会社 北海道拓殖銀行小樽支店

新築工事概要

位置	小樽區色内町七丁目五拾六番地
敷地面積	二百七十三坪六合五勺
工事工程	起工大正十一年五月竣工大正十二年十月
建築坪数	總坪数九百九十一坪五九五
建築様式	ルネッサンス
建物高さ	地盤より最高部迄六十四尺
構造概要	基礎深さ十尺総堀とし基礎、外壁、主要間仕切、荷 持柱、各床、屋蓋等總て鉄筋「コンクリート」造地 下室共五階建
各室配置	地下室、食堂、厨房、小使室、宿直室、暖房室、金 庫室、物置、更衣室、貯炭室、暗室、貸事務室等 第一階 營業室、客溜り、応接室三、金庫室、電話 交換室、圖書室、洗面室、便所、階段室 第二階 重役室、応接室二、會議室、金庫室、洗面 室、便所 第三四階 大小二十余室とし洗面室、便所共附す 二階以下花崗石仕上以上貼付化粧タイル仕上とす 營業室、床「キルク」張の上「リノリウム」敷、客溜 り床モザイクタイル敷、腰廻り大理石、カウンター 岡山県産萬成花崗石、天井は漆喰塗及石膏仕上と

防火設備	暖房設備	昇降機	電気設備	電話及電鈴設備	給水設備	衛生設備	瓦斯設備	避雷針	設計者
------	------	-----	------	---------	------	------	------	-----	-----

す
入口、窓「スチール」製扉付し營業室境は捲き上
げ「シャッター」設置す
周壁鉄筋「コンクリート」二重厚壁とし扉は鋼鉄特
製とし貴重品用と別に小金庫を配置し安全庫の設
備とす
アメリカカンラヂエーター会社製低壓蒸汽罐二臺を
据付け燃料石炭消費量一日平均二、三〇〇封度とす
日本エレベーター会社製昇降機二基を設備す
電力は高壓電流を引込み動力用とし晝夜照明用の
設備をなす
局線電話百回線引込み營業用私設桌上電話三十個
二座席付交換器一臺据付「三四階室」用は總て局線
とし其外電鈴設備をなす
屋上清水「タンク」に給水し各階に配給なし各洗
面場用給湯は汽罐室に「ストレイジタンク」ヲ設備
し華氏百二十度温度となし「フーガル」ポンプ
「ポンプ」を使用一馬力半電動機にて送湯す
便所は總て洗滌式とし汚水は浄化装置に依り浄化
したる後海岸に放流す
厨房及「三四階」各室に湯沸し用瓦斯を設備す
煙突頂部に一ヶ所設備す

工学博士 矢橋賢吉
小林正紹

工事監督者
建築工事請負者
暖房及昇降機
水道衛生工事
電燈工事
瓦斯工事
同
同
同
同

伊藤組

山本萬太郎
湯浅十三郎
伊藤龜太郎
高田商會
帝國電燈株式會社
東京電氣株式會社
北海道瓦斯株式會社